

昭和から激しく 変化してきた漢字 ～ハカセと振り返る 半世紀の漢字体験

日時： 令和4年 **7**月**2**日(土)
午後1時30分～3時30分(午後1時開場)
場所： 生涯学習センター2階 視聴覚室

定員：30名
(申込み順)
対象：一般
(中学生以上)

ささはらひろゆき

講師： 笹原宏之さん

1965年、東京生まれ。国立国語研究所主任研究官などを経て、早稲田大学大学院教授。ティーチングアワード受賞。博士(文学)。

日本漢字学会理事、日本語学会評議員。常用漢字、人名用漢字、JIS漢字などの策定・改正に携わる。『新明解国語辞典』の編集委員、NHK放送用語委員なども務める。

著書に『日本の漢字』(岩波新書)、『訓読みのはなし』(角川ソフィア文庫)、『方言漢字』(同)、『漢字の歴史』(筑摩プリマー新書)、『謎の漢字』(中公新書)、『漢字ハカセ、研究者になる』(岩波ジュニア新書)等があり、『国字の位相と展開』(三省堂)により金田一京助博士記念賞、白川静記念東洋文字文化賞。



申込み：6月2日(木)午前9時～

図書館カウンター、またはお電話にて

日高市立図書館 ☎042-985-5121